



宝石姫はもう泣かない

for adult only R18
"She doesn't lose anymore"

20121231
Fate/Zero to /staynight
Kirei.Kotomine*Rin.Tosaka
issued by Yuhshiki

ほら、早く脱いで
わたしたちに見せてよ

セイバーもほしがってるし、
私も勃起した
男の子の性器見てみたい

聞いたセイバー？

士郎、貴女を見て
欲情してるんだって

けど少しは我慢してね

セイバーの準備が出来るまで
衛宮くんはそこでおあすけ

凜、そんな、ふかく…

っ
っ



シロウが、私を

いまからアレが
貴女の中に入るのよ

緊張する？

衛宮くんは
男の子だもの

もう逃げ出したり
しないわよね？



お願いします、シロウ



いいのか、セイバー



珍しいだろう

お前が私をわざわざ
屋敷に呼び出すのは



資産は近頃
動かしていないし
刻印の移植による不良は
落ち着いたのでは？



私が贈った服を？

初めて見たぞ



…礼儀ってやつだと
思ったのよ





伝令器や電話じゃ
言えないわ…

?



凜、それは
説明ではない

呼ぶ前に言ったら
断ると思ったからよ

あんたを屋敷まで
呼んだ理由はね



この前やっつと
…初潮がありました



この前あなたに
港区の倉庫を処分して
もらったお金で
買ったものです



それは
おめでとう凜

しかし早く伝えなさい、
一人で困らなかつたかね

そんなこと普通
男親にも
言わないものよ…

これだから
反術師って
浮くものよ



後生大事にとっておいて
どこか他所の魔術師に
くれてやるよりは

処女の母胎が
生まれたときから
蓄えている魔力



遠坂の魔術の継承者が
私だけだと言うなら、
一部の例外もなく

これで私のからだは
女として使えるように
なって

将来、どんな方法かで
使うか売るかに
なるでしょう？



宝石に移しておければ
アドバンテージでしょう、
だから…

私が？手伝う？

言葉通りよ、理由は
女の体の扱いを
私自身がわからないから

そ、それと

たぶん私の指じゃ
届かないから…



監督責任において、
あなたがそれを
手伝って！

それなら何か…

…なんでもない



道真さま
使え
とか
言い
出した
殺す顔

まさか女性経験がないなんて
言わないでしょ…

昔結婚していた
ことはあるが

そ…そうなの
意外だわ

それで、

それはれっきとした
私への頼み事として
受け取っていいのかな

な…っ

う…

いやな奴ね!!

私だって
自分一人でできれば
こんなこと

でもあなたがたとえ
ザルみたいなの
後見人でも

任されたからには
私の保護者代わりでしょ!

監督の義務って
あるんじゃない!?

適当は心外だ

わかったわかった

場所は?

こういうことって陣が
必要だと思っただけど

地下には検査台
しかないし自室は
さすがに嫌だわ…

嫌?

嫌よ

わかった、
ではこちらに



っ!?



いきなり何!?

近い!!

キスをするのが
おかしいのか?



最初に言っておいてくれ

キスくらいは初めては
好きなのとしたいけど...

私...



舌は使いやすい
受容体の塊だが...

うー...

感覚を補う術式なら
覚えました



意識して調節
するように

お前は感情が昂ぶりやすい

思考は外に
意識は内に
レスポンスは
通過するように

わかってるわ
わかってるわよ



入力を絞ってきてくれ…



…しかし、迂闊なことだ

ら……らに……?

迂闊だと言ったのだ
機転がきくだけに

耳が暇だろう
せっかくだ

お前の短慮について
苦言を呈しておこう

この方法をとるにしても、
相手は選ぶべきだったな

ふい
ふ

ニム

本来は外の魔術師である私に
秘伝とも言える宝石魔術を見せ

何の防御も施さない肌を触れさせ
儀式に手を入れさせる

ら……らによ……

今はらひうほとなの……

私が信頼に足ると
お前は思っていないのでは
なかったかね？

そうだ、けど

ゆる

私はさきの聖杯戦争で
遠坂の同盟者となったが
マスターに選ばれたということは
本来父上の敵であったし

君の父上は
間桐に斃された
と伝えられただけで

禅城家にいた君は
聖杯戦争の詳らかを
知るわけではない

何が…
言いたいのか…

はっきり言えば、
君の兄弟子な
だけあって私自身
急仕立ての魔術師だ

魔術の家柄に理解が
及んでいるとは思えぬし、
肝心の聖杯戦争で
私の協力が不全であった、
或いは敵を見逃した、

綺礼…

或いは私が理由なく
契約を違えた確証など
どこにもないと

君は失念して
いるのではないかと
思ってるね



れが何よ

お父様は御三家魔術師として
積み上げたすべてをかけて
聖杯戦争に臨んだし、
この先にも備えたわ！

アンター一人のせいで
お父様が負ける
可能性だなんて、
うぬぼれも大概よ

魔術師が魔術師として
戦って負けるのは、
不可避の運命だし


そんなことも
受け入れられない
程子供じゃない

ええ、それでも
あんたが


お父様の信頼を裏切って
生き延びたって言うなら、

私が魔術師として
ゆるさないだけよ！






やっぱり最低、
アంతあって本当に……!




いじわるね

こんなこと、
あなたがいなければ
諦めただけよ




こんな極東で今日明日
つがいが見つかるなら
御三家は枯れてないし

時計塔への留学を
待ったところで
封印指定されれば
引く手あまたなのは
実験台としてよ



命より大切な魔術刻印を
預けてたのに
今更な話だわ



私が独りだつてことを
思い出させても

遠坂の娘は
簡単に折れたり
しないんだから……







やだ

……違うみたい



案外たいしたこと
ないのね

悪いが
当然ながら私には
経験がないのでね

問題なければ何よりだ



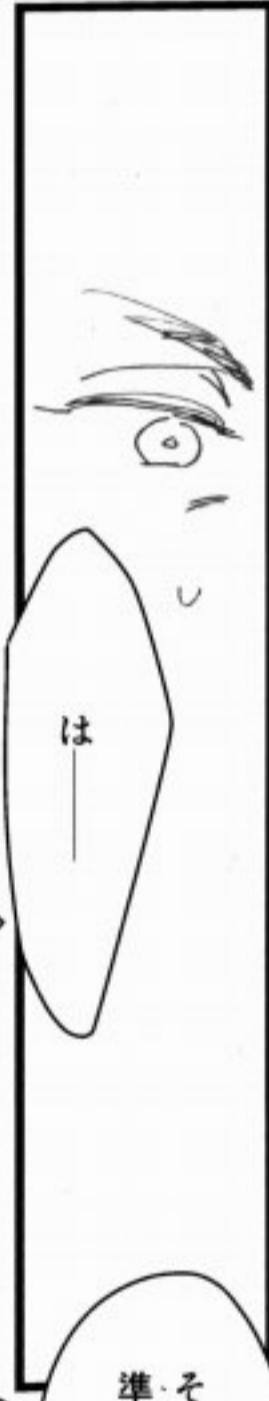
何をばかな

お前はまた
男を受け容れる体
ですらない

嘘よ
よくあること
なんででしょう



ウテルス
子宮!!



は



奥までちゃんと
入れてくれたか?

お腹の中の入り口に



ちゃんと
石を孕まない
と核にならないわ

そんなはずない
準備ができてるんだから



指が届かないなら、
最後までして！

ううんだめよ

そんな中途半端じゃ…
そんなんじゃ私…

やめなさい

私にはお前が成人するまで
危険なく指導する
義務がある

わたし何も
手に入れられない…!!!

……
わかった

手順通りに

うん…



うさわの要領





私はこれが
あまり好きでは
ない……



ふん
あんたのそんな顔
見ただけでも
甲斐があったって
思うわ



もういいだろう
仕上げるぞ

か
ん



ア

はふ



ふ……っ

ズッ



はふ



くるくるっ

私、わたし—また

あっ、

やだあ
こないで……



……

そっういえば髪を

おろすように
なったのか

凜……



あったかい…



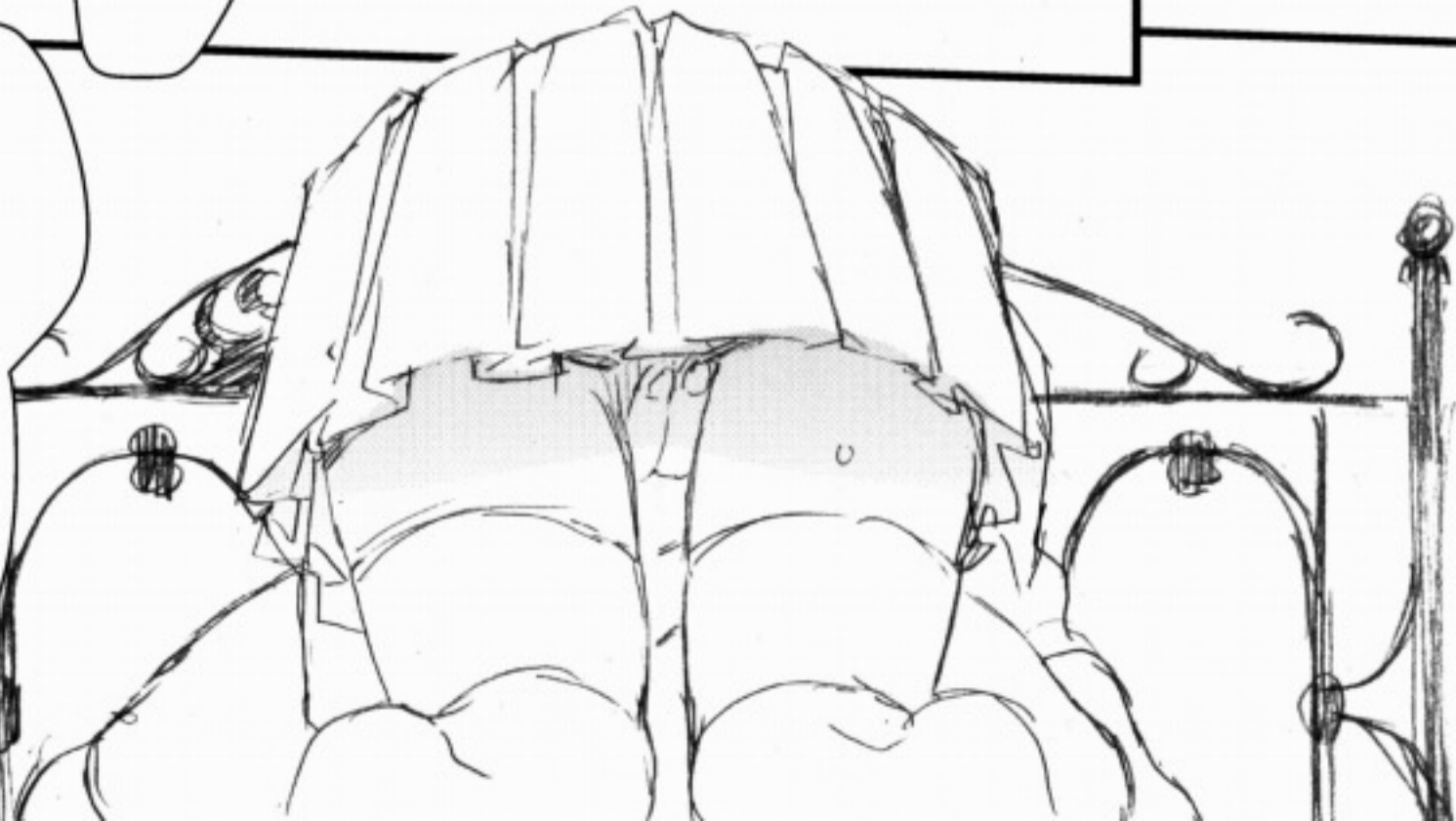
気付くの遅い…

私の四つ目…

よかった…

セイバー

いやだ、シロウ、
こんな
シロウの顔が
見えないと
不安で――



それ以上されたら

あつ待っ、

ん、

ふあ

あつ

わたし、おかしく

可愛いセイバー

許してあげなくて
ごめんね

生き延びたいの

誰かの
サーヴァントを奪えば
私にだって…

聖杯を突き付けて
やるんだから

愛は戦いなのよ

あーあ…

まさかああまで
しやあしやあと

こっちの寝首
かいてくれるとか…

私の財産

詰めが
甘いわ

殺さなくても、
あんたの邪魔に
ならないと思ってるなら
後悔するわよ

00
士郎が
早く帰ってきて
くれないかな



あなたの子供
産めなくなったら
どうするの…





宝石姫はもう泣かない

"She doesn't lose anymore"

20121231
Fate/Zero to /staynight
Kirei.Kotomine*Rin.Tosaka
issued by Yuhshiki